

平成30年度第1回 島根支部健康づくり推進協議会の議事概要

開催日	平成30年9月19日(水)
場所	全国健康保険協会島根支部 大会議室
出席委員	青山委員、伊藤委員、沖田委員、梶谷委員、高梨委員、永江委員、増原委員、村松委員、山崎委員 (敬称略、五十音順)
議題	
議事概要 (主な意見等)	<p>支部長あいさつ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 議長選出【議題1】 2. 各種事業の展開(その他保健事業)【議題2】 3. 健診事業及び保健指導の実施状況【議題3】 4. 島根支部における医療費の状況と傾向【議題4】 5. その他【議題5】
	<p>1. 議長選出【議題1】</p> <p>島根支部健康づくり推進協議会設置要綱に基づき、互選により学識経験者の永江委員を議長として選出。</p> <p>2. 各種事業の展開【議題2】</p> <p>資料2により説明</p> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康経営優良法人認定制度において認定された事業所には、どのようなインセンティブがあるのか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部のヘルス・マネジメント認定制度も同様であるが、いわゆる「ホワイト企業」であることが認められ、公表されることにより企業のステータス向上につながるものとする。 <p>[意見等](認定事業所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の生活に取り入れられる健康づくりの取り組みを社内報に掲載し、給与明細に同封しているが、認定を受けたことについても掲載したところ、健康づくりの意識付けが図られ、結果として従業員の生産性の向上にも効果が出ていると感じている。

[意見等] (認定事業所)

- ・ 認定されたことで、現在の取り組みをブラッシュアップさせる必要性を感じ、さらなる改善に取り組むようになったので、よかったと思う。

[意見等]

- ・ ヘルスアップサポート事業の出前講座とは、どのような内容なのか。

【事務局】

- ・ 6つの項目（生活習慣病予防、食生活、歯科、運動、禁煙、メンタルヘルス）に分かれており、事業所からの依頼を受け、支部の保健師、管理栄養士や関係団体から講師を派遣して実施するものである。

[意見等]

- ・ ヘルスアップサポート事業における健康測定機器について、血圧計の貸し出しを行ってはどうか。事業所には高血圧の方が多い一方で、血圧計を設置していないところが多い。貸し出しを行うことで、継続的に測定するきっかけにもなるのではないか。

3. 健診事業及び保健指導の実施状況【議題2】

資料2、資料3より説明

[意見等]

- ・ 特定保健指導実施による改善率については、30%も改善したと理解するのか、それとも改善できていない人が70%もいると理解しているのか。

【事務局】

- ・ まだ改善すべき人が多数いるという気持ちで取り組むべきであると考えている。

[意見等]

- ・ 特定保健指導には該当のままだが、数値が改善したり、積極的支援から動機づけ支援に改善している人は多数いるので、そういった数値も含めて改善率を示す方が良いのではないか。

[意見等]

- ・ 今年度から評価までの期間が6か月から3か月になり、間延びすることなく、評価まで実施することができると思うが、対策は検討されているのか。

【事務局】

- ・ 島根支部では 30 年 8 月から 30 年度健診分を実施している。第 3 期の実施方法についての課題や疑問点等について、今月下旬には保健指導実施者を集め、意見交換を行う予定である。

[意見等]

- ・ 事業所において保健指導を受けさせる立場であるが、日程調整が難しいと感じている。一方で、担当者が該当者にきちんと保健指導を受けさせないといけない、という意識を持つことが重要だと感じている。

【事務局】

- ・ 各事業所の担当者の方の負担をどのように減らしていくのか、ということも課題であると考えている。そのためにも、健診機関において健康診断の会場で、保健指導も同時に受けられる環境づくりを広げていく必要があると考えている。

[意見等] (健診機関)

- ・ 健診実施機関としては、保健指導を健診当日に実施するのは人練りの面もあり難しい面もあるが、方向性としては当日に保健指導まで受けていただくことができる流れを検討していきたい。

[意見等] (社会保険労務士)

- ・ 社会保険労務士会として、28 年度から事業者健診データの結果取得について協会けんぽから業務委託を受けていたものの、個人的には、最初はデータ取得をする趣旨等ははっきりとわからない部分があった。重要な業務であるので、今後も取得に向けて対応していきたい。

[意見等]

- ・ 協会けんぽの持っているデータを健康経営の事業所づくりに活用していけるとよいと思うが、活用できるような見える化をすることはできないのか。

【事務局】

- ・ 健康宣言事業所に対し、事業所ごとに健診データ（10 人以上の先に限る）集計し、各事業所ごとの健康状態等をグラフ化した「ヘルス・マネジメントカルテ」を年 1 回送付し、事業所ごとの実態を把握していただいている。

4. 島根支部における医療費の状況と傾向【議題4】

資料4により説明

[意見等]

- ・ 資料60ページの生活習慣病予防健診受診率と医療費の相関関係については、8市のみの掲載であるが、最も医療費の高い津和野町は、どのような位置になるのか。

【事務局】

- ・ 町村は分母となる人数が少ないために、11町村を入れると健診受診率と医療費との相関関係が見えなくなってしまうため、今回の資料にはあえて掲載していない。8市については、益田市を除いて、健診受診率と医療費との相関関係が見えるデータとなっている。

[意見等]

- ・ 入院医療費が高いということだが、島根県は圧倒的に介護や福祉にかかる資源が少なく、病院に患者が流れる傾向がある。病院としては早く退院していただきたいが、その先の受け入れ先がないのが現状である。入院の1件当たりの日数が長くなっているのは、そういう原因があると思う。介護、福祉などの社会資源との関連性も分析が可能であれば、実施してみしてほしい。

【事務局】

- ・ 医療と介護の関係、連携をどうしていくのかというのは、島根県地域医療構想調整会議の中で平成30年度頃までに県としての方向性を示すよう国から方針が示されている。地域医療構想の基本的方針としては、病床機能に応じた医療提供体制の見直しを図るとともに病床再編によって、例えば在宅への誘導や、介護施設との連携を進めていくこととしている。

[意見等] (議長)

- ・ 地元新聞に島根県知事が「糖尿病の重症化予防に今後力を入れていく」という発言が掲載されており、その中で「協会けんぽと連携を図っていきながら検討を進めていきたい」と発言されていたと思うが、そのあたりも含めて島根県の考え方を改めてお尋ねしたい。

(島根県健康推進課長)

- ・ 今年の3月に県として「重症化予防プログラム」を策定したところである。協会けんぽのデータも含めて分析をし、見える化することにより施策を検討することができればと考えている。
- ・ 県全体で検討するとともに、各圏域で、事業所と一体となって取り組める方向を検討していただきたい。(議長)

5. その他【議題5】

当日配布資料より、インセンティブ制度について説明。

[意見等]

- ・意見なし

特記事項

次回予定 平成 31 年 3 月